

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリハット
2. 体験した事例の名称	火災アパートの二階開口部で助けを待つ要救助者を三連梯子を用いて救出時に落下危険を生じさせた事案
3. 体験した事例の中心的要素	二階開口部脇に三連梯子を架梯し、歩行可能な要救助者に自力で梯子へ乗り移るよう誘導中、窓枠に腰掛けていた要救助者の臀部が外れ、一時、一階底部分に足をついた状態で両手で梯子にぶら下がる状態になり、転落危険が生じたもの。
4. 体験した事例の原因・理由	要救助者の状況を視認した際に、自力での乗り移りが可能と判断し活動に入ったが、一階玄関の庇と駐車している車両の影響で梯子の架梯位置と架梯角度が限定されたため、開口部と梯子の距離が離れてしまい、乗り移りが困難となった。その際に、隊員が小隊長の指示を仰がずに活動を実行している点と救出ロープの活用の判断を誤ったことが原因と考える。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の意志決定に問題があった。
------------------	-----------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成26年9月20日 午前1時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：アパート二階開口部
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させそうになった。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	重傷の怪我をしていた（させていた）だろう
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	墜落・転落
7. 事例体験時の活動	火災現場活動初期、[木造建物]
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	その他：人命救助
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[44]歳、勤続年数[24]年、現場経験年数[24] 年、階級[消防司令] 同様の活動 [], 任務 [車長]
○当事者B	年齢[33]歳、勤続年数[11]年、現場経験年数[11] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [], 任務 [隊員]
○当事者C	年齢[25]歳、勤続年数[3]年、現場経験年数[3] 年、階級[消防士] 同様の活動 [初めて]、任務 [機関員]
○その他(当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生時の経過。

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者B	梯子を架梯後、登梯し要救助者に接触した	
経過2	当事者B	要救助者の腰を保持し、自力で乗り移るよう指示した	
経過3	要救助者	梯子への乗り移り時、一階底上で梯子に両手でぶら下がる体勢になった	
経過4	当事者B 要救助者	その後、介添えをしながら自力で乗り移ってもらい、救出する	
経過5			
経過6			
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

【その事例発生時の状況について】

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、事故にならなかった。 その他：要救助者に体力があり、自分の腕力で踏み止まることが出来た

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ

b. 注意力が欠如していた

・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	いいえ
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	いいえ

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	はい
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	はい
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

隊員が判断実行してしまい、小隊長に指示を仰がずに活動した。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

○装備・資機材の対策について

○活動環境の対策について

○指揮・情報伝達の対策について

現場状況図

